

平和行進活動交流ニュース

発行：原水爆禁止国民平和行進中央実行委員会事務局団体・日本原水協
電話：03-5842-6035 FAX：03-5842-6033 Eメール：antiatom55@hotmail.com

2019年
5月14日
発行

核兵器全面禁止・廃絶の声を広島・長崎・世界へ届けよう

北海道→東京コース通し行進者の丸宗市さん（太平洋）の日記を紹介します。

5月10日（金）《5日目》



車で3町を訪問。約100kmの行程でした。3町とも核兵器禁止条約への調印（署名）・批准・参加を日本政府に求める意見書採択に前向きで、特に鹿追町の議長の「核兵器廃絶は誰が考えてもあたり前のこと、それに賛同できない政府は本当におかしい！」の発言は印象的でした。

7日から今日までの4日間でペナント36本、募金18万5000円、「ヒバクシャ国際署名」新肩書き署名3、依頼7という状況です。十勝、根室の皆さんの取り組みに本当に頭が下がります。東京でも大いに学ばなくてはと思います。明日は富良野に移動します。

5月11日（土）《6日目》

帯広から富良野に移動しました。午前中に占冠（しむかっぶ）村議長の自宅に訪問し、「ヒバクシャ国際署名」をしていただきました。この村は12月に核兵器禁止条約への調印（署名）・批准・参加を日本政府に求める意見書を採択しています。すごいと思ったことは、この村は陸上版の非核「神戸方式」といえる、自衛隊の村道通過を演習や武器輸送に限って認めていないことです。

午後は、生協前で集会を行った後、行進しました。行進終了後の宣伝活動は、少ない通行人でしたが短時間に署名が96人分集まり、あまりの反応のよさに感動しました。その後みんなで楽しく交流しました。

5月12日（日）《7日目》

富良野から赤平に移動。反核マラソンの青年も合流して引き継ぎ式を行い、マクベスというお店の前で宣伝をした後に勤医協の友の会のお花見の後、交流会に参加しました。

5月13日（月）《8日目》

今日は芦別、赤平両市の市長、教育長を訪問しました。核兵器禁止条約への調印（署名）・批准・参加を日本政府に求める意見書を是非採択してほしいことを訴えました。赤平では非核平和都市宣言を20数年前から採択し、市民にアピールしていることなどが話されました。

赤平、歌志内などでは炭鉱の閉山後、人口の減少で苦慮していることが、町並などからもうかがえました。そうしたなかで、全国一小さな市の歌志内では、今年から原水爆禁止世界大会に市民を派遣することを決めたそうです。本当にすごいことです。

